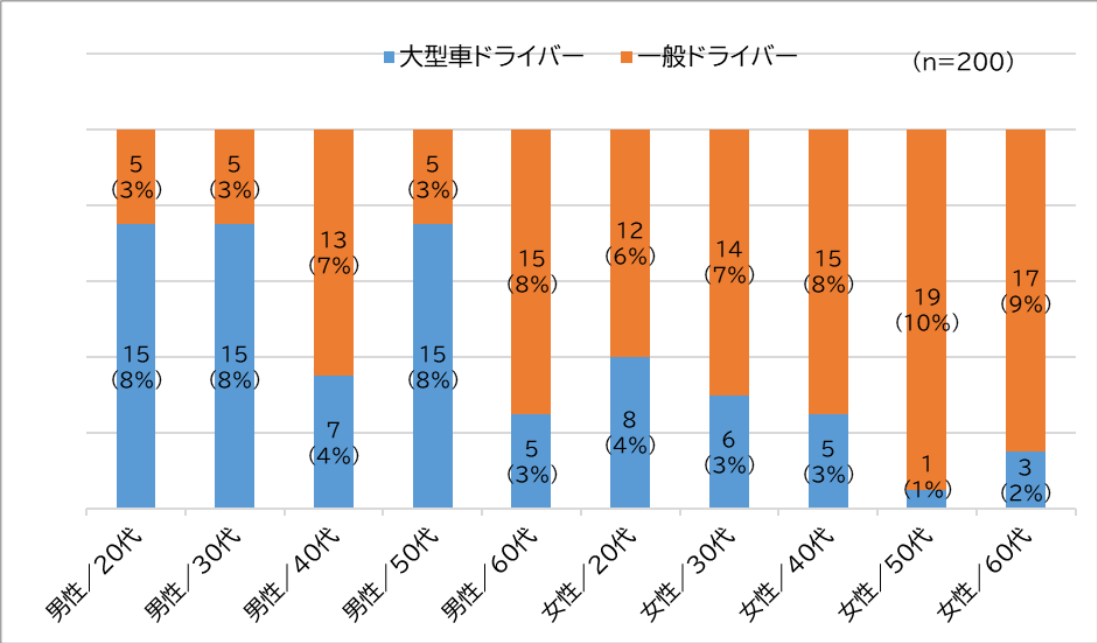


ラジオ広報におけるドライバーへの Web アンケート調査結果（単純集計）

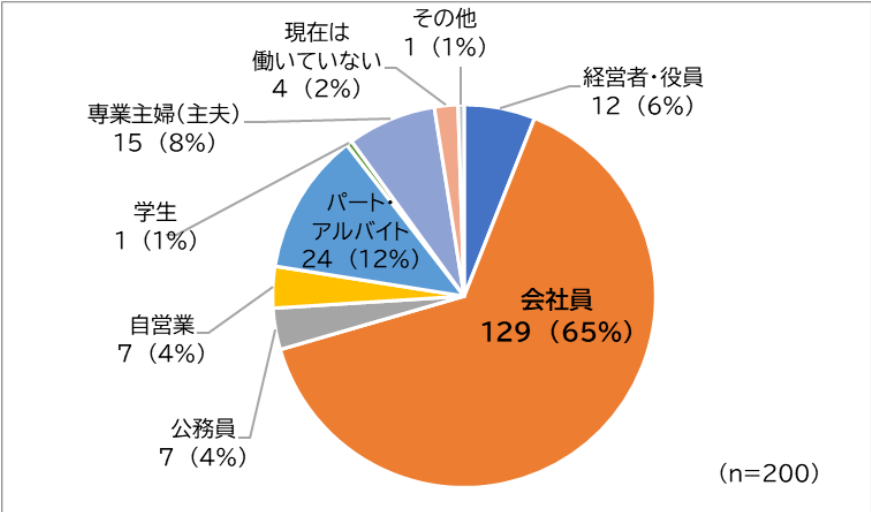
▶回答者の属性

〈性別、年代〉



回答者 200 名のうち、80 名が「仕事で大型車を運転している」と回答した。大型車ドライバーは男性の割合が高く、一般ドライバーは女性の割合が高い。

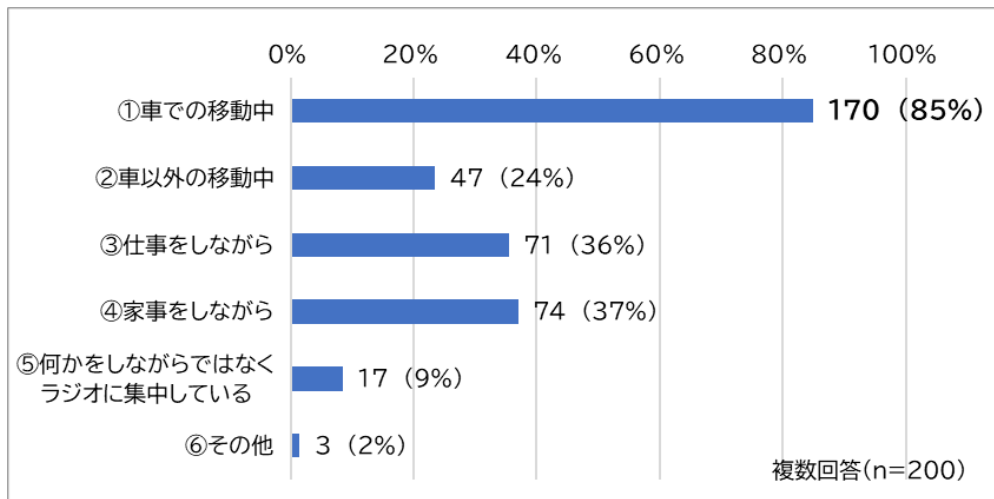
〈職業〉



回答者の職業は、「会社員」が約 7 割を占めた。

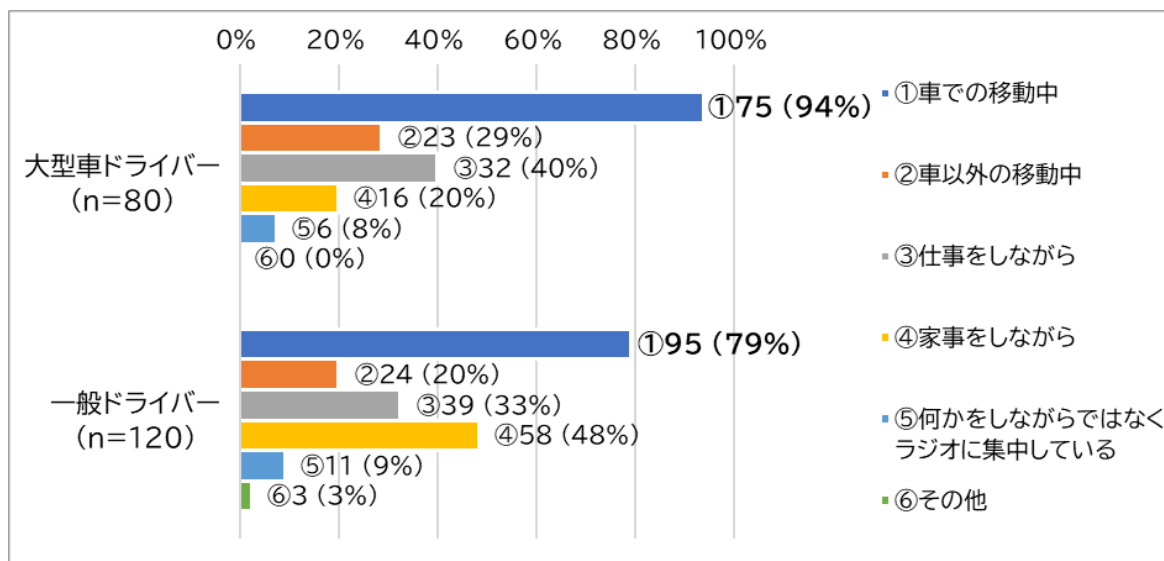
▶本調査（共通質問項目）

【質問1】あなたが普段ラジオを聴く際の聞き方として多いものは次のうちどれですか。あてはまるものを全てお答えください。（いくつでも）



ラジオを聴く際の聞き方として、「車での移動中」と回答した割合が約9割と最も多かった。

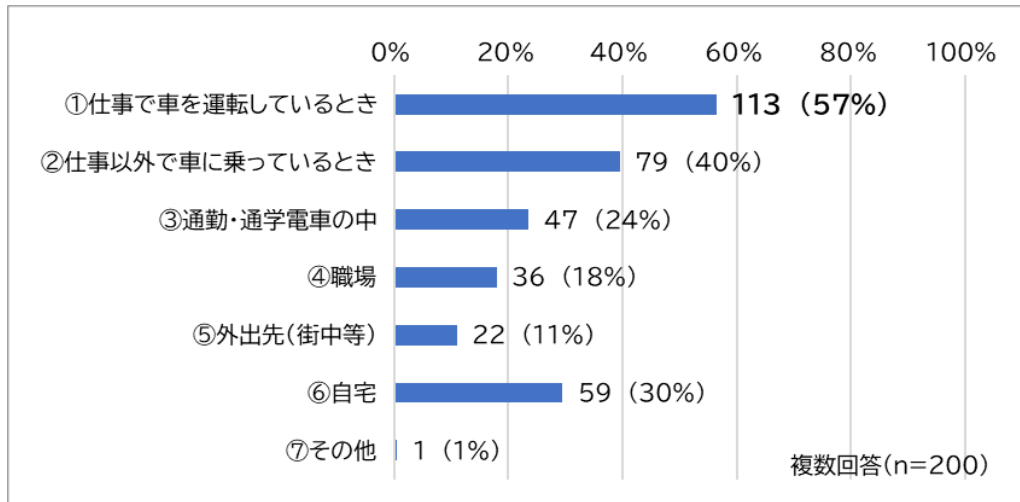
大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



大型車ドライバー／一般ドライバー別にラジオを聴く際の聞き方をみると、いずれも「車での移動中」が最も多かった。特に大型車ドライバーは約9割と非常に高い割合となっている。

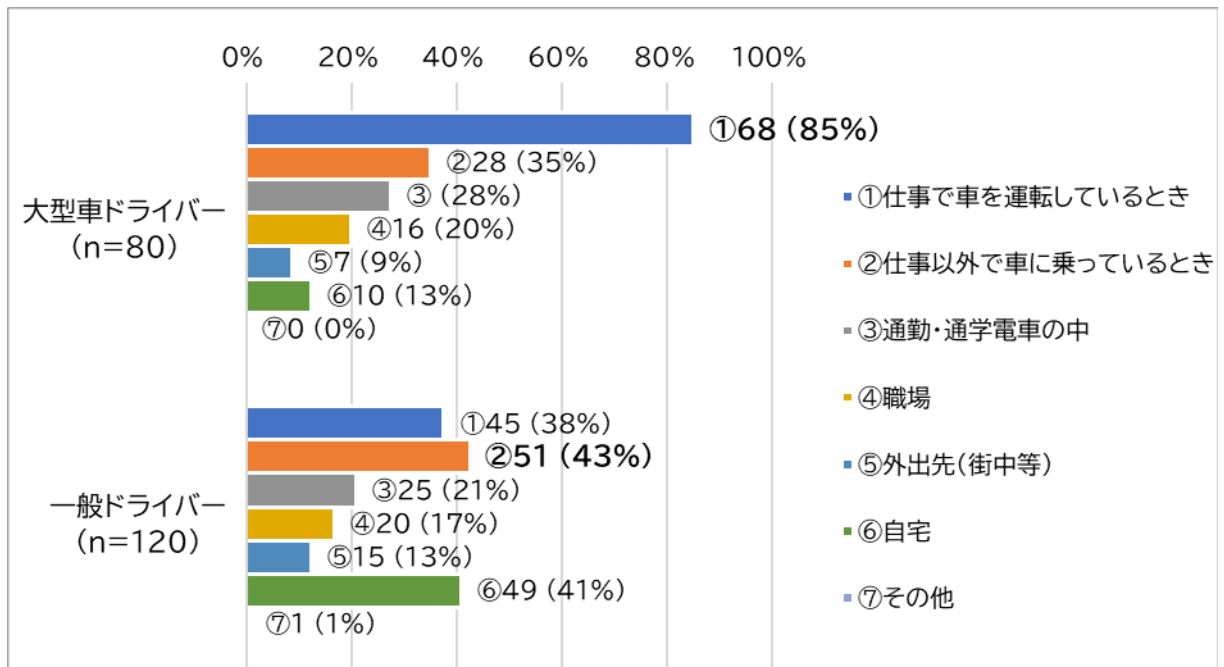
質問1その他回答(3件)
ネットサーフィン
寝る時
ウォーキング中や電車移動時

【質問2】 あなたは「大型車通行適正化ラジオ CM」をどこで聴きましたか。(いくつでも)



ラジオはドライバーとの親和性が高いため、本ラジオ広報も、仕事または仕事以外で車に乗っている時に多く聴取されていた。その他回答 1 件の具体的な内容は「子どもの送迎で運転している時」であった。

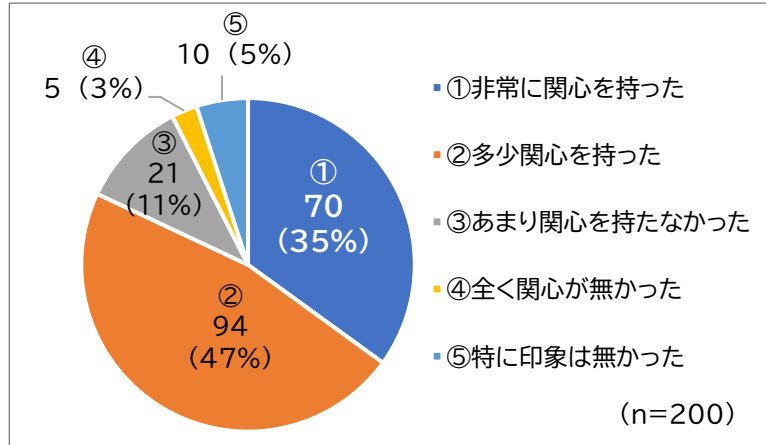
大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



CM 聴取場所を大型車ドライバー／一般ドライバー別にみると、大型車ドライバーは「仕事で車を運転しているとき」が約 9 割で最も多いが、一般ドライバーは「仕事以外で車に乗っているとき」が最も多い結果となった。

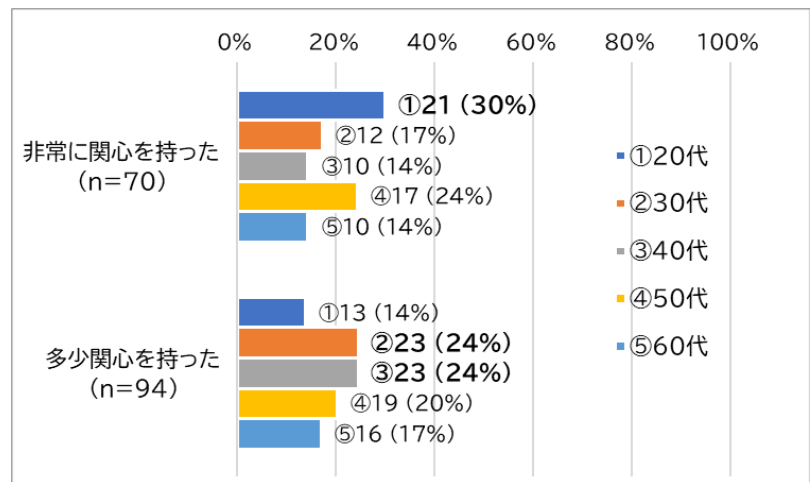
【質問3】「大型車通行適正化ラジオ CM」の内容(…概略…)を聴いて、どのような印象を持たれましたか。

ラジオ CM を聴いて、多少でも関心を持ったと回答した割合は約 8 割となり、何らかの印象を持たせることができた。

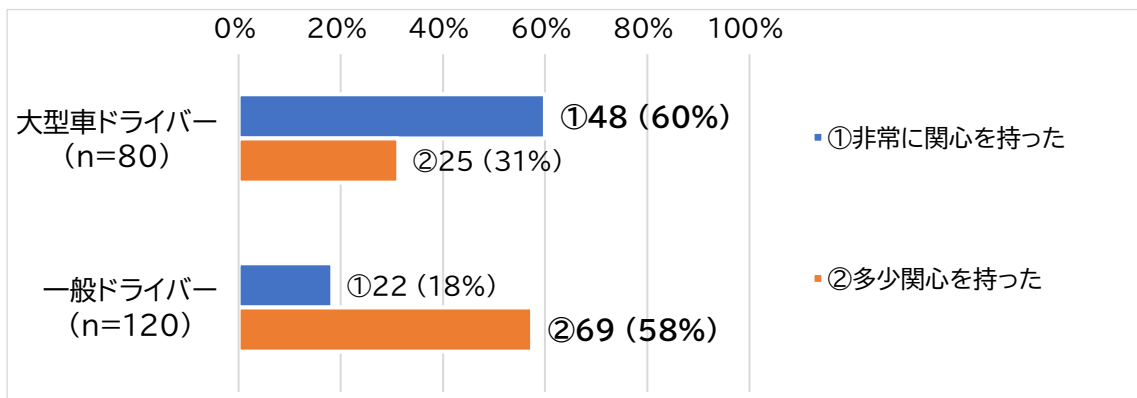


年代別

年代別にみると、「非常に関心を持った」と回答した割合は 20 歳代が約 3 割で最も多く、次いで 50 代が約 2 割であった。「多少関心を持った」と回答した割合も含めると、20 代～50 代までそれぞれの年代が 4 割前後となっており、年代に因らず、多少なりとも関心持ってもらえることが出来た結果となった。

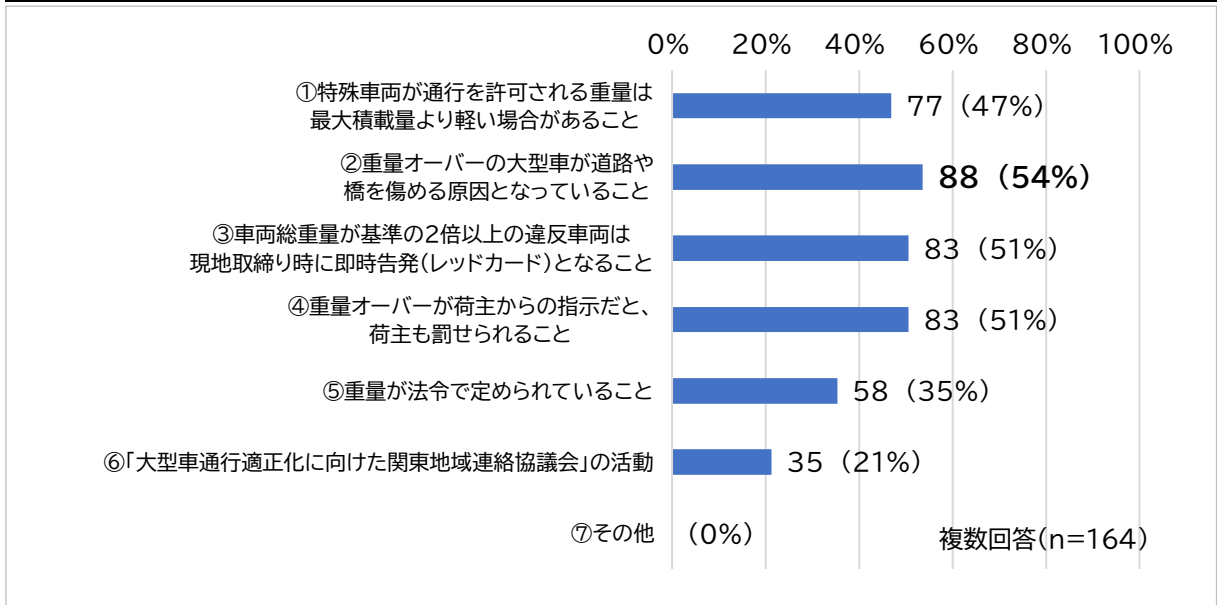


大型車ドライバー／一般ドライバー別



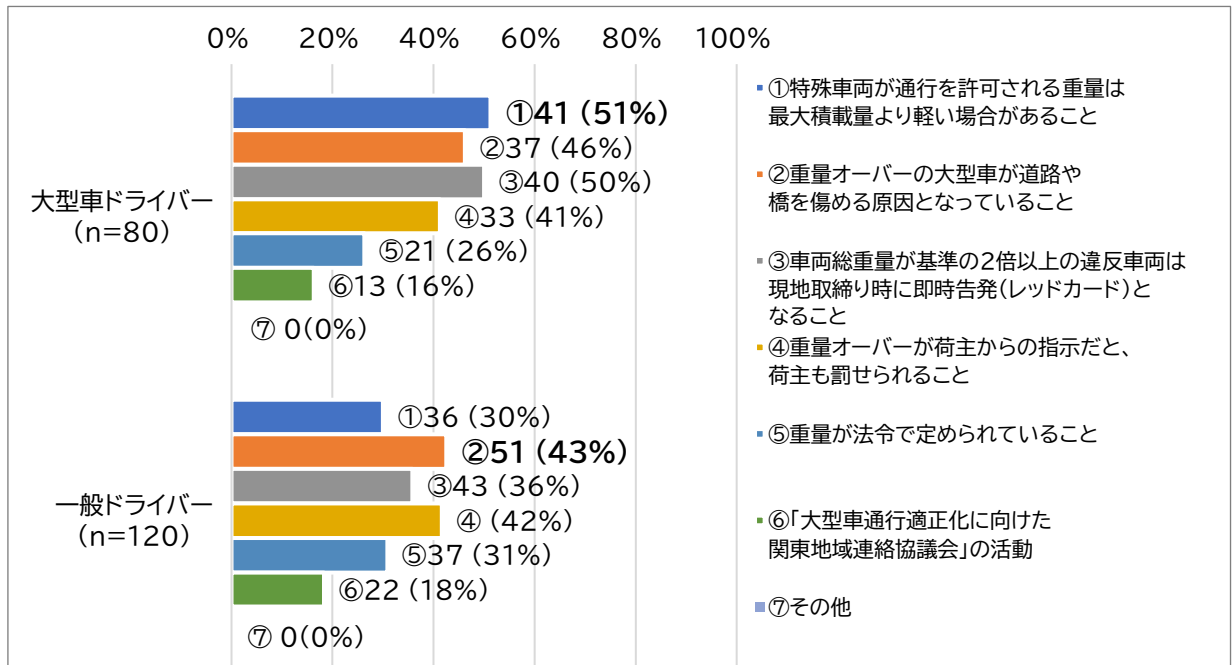
大型車ドライバー／一般ドライバー別にみると、「非常に関心を持った」と回答した割合は、大型車ドライバーが約 7 割で、一般ドライバーより関心の度合いが高い結果となった。

【質問4】あなたが関心を持ったのはどのような点でしたか。あてはまるものを全てお答えください。(いくつでも)



CM 内容で関心を得た点として最も多かった回答は、「重量オーバーの大型車が道路や橋を傷める原因となっていること」であった。

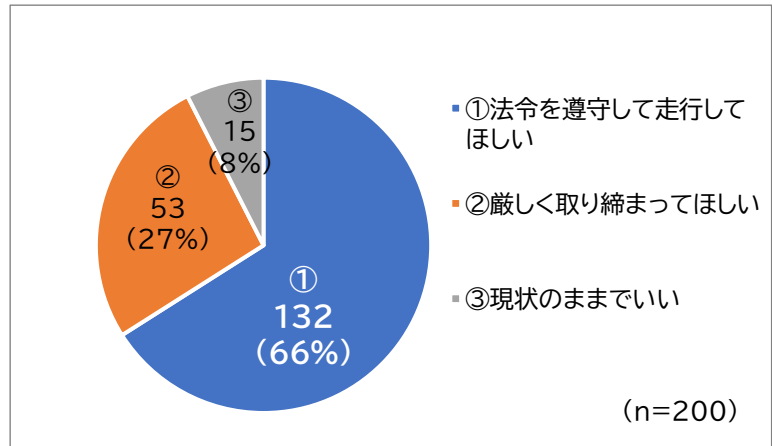
大型車ドライバー／一般ドライバー別（複数回答）



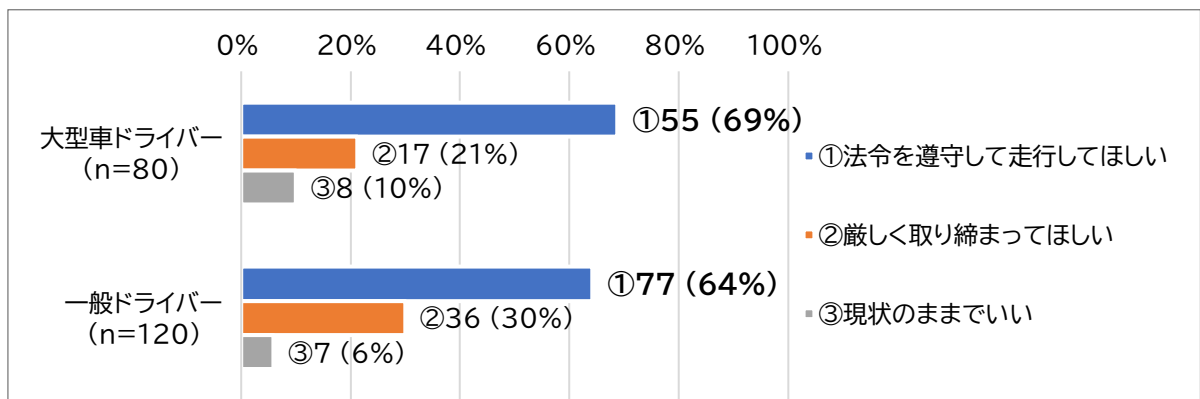
大型車ドライバー／一般ドライバー別に関心を持った内容をみると、大型車ドライバーは「特殊車両が通行を許可される重量は最大積載量より軽い場合があること」が約5割で最も多く、一般ドライバーは「重量オーバーの大型車が道路や橋を傷める原因となっていること」が最も多かった。

【質問5】「大型車通行適正化ラジオ CM」の内容を聴いて、あなたは重量オーバーの大型車に対してどうあるべきとお考えですか。最もお気持ちに近いものをお選びください。

重量超過車両への対応のあり方については、「法令を遵守して走行してほしい」と回答した割合が約7割で最も多かった。



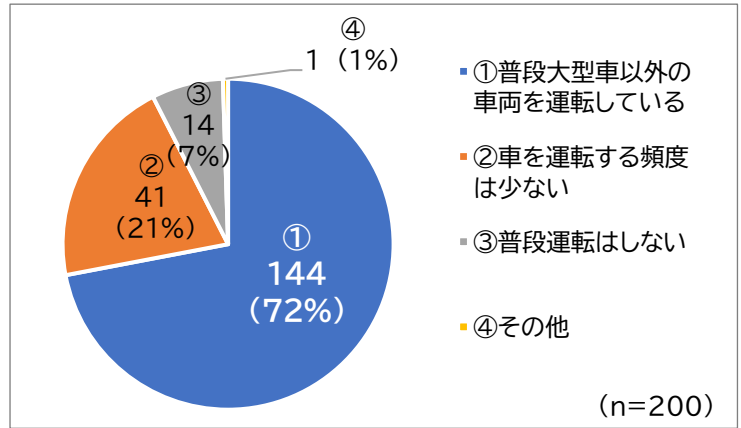
大型車ドライバー／一般ドライバー別



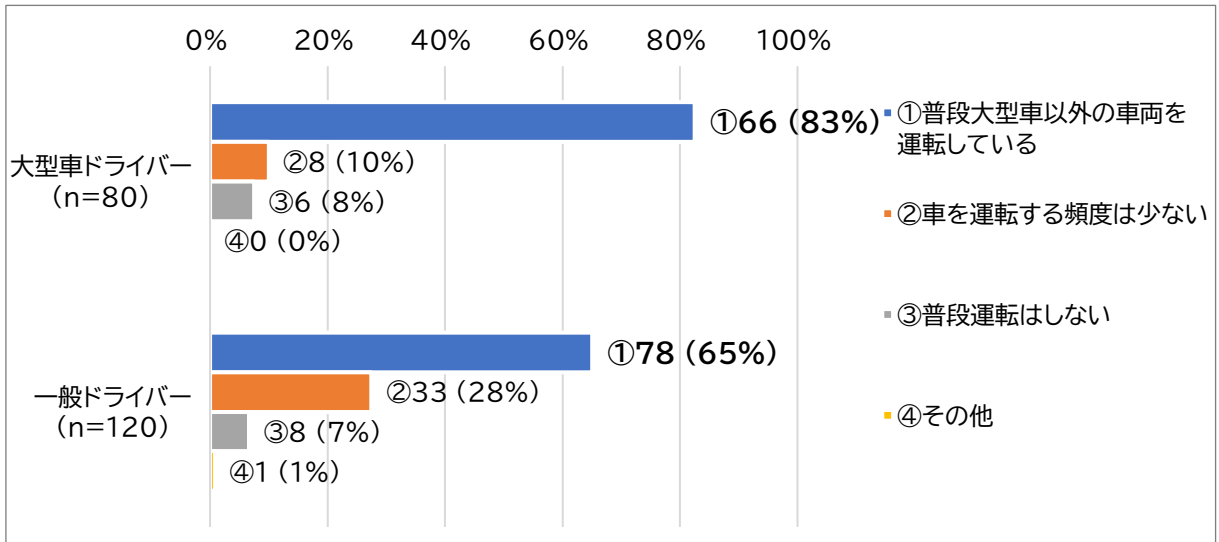
大型車ドライバー／一般ドライバー別では、重量超過車両への対応のあり方について、いずれも「法令を遵守して走行してほしい」と回答した割合が最も多かった。一方で「厳しく取り締まってほしい」と回答した割合は、大型車ドライバーが約2割となり、一般ドライバーより低い結果となった。

【質問6】あなたの仕事以外の日常生活における自動車の利用状況について最も頻繁に利用するものをお答えください。

仕事以外での自動車の利用状況については、「普段大型車以外の車両を運転している」と回答した割合が約7割と最も多かった。その他回答1件の具体的な内容は「通勤に使用している」であった。



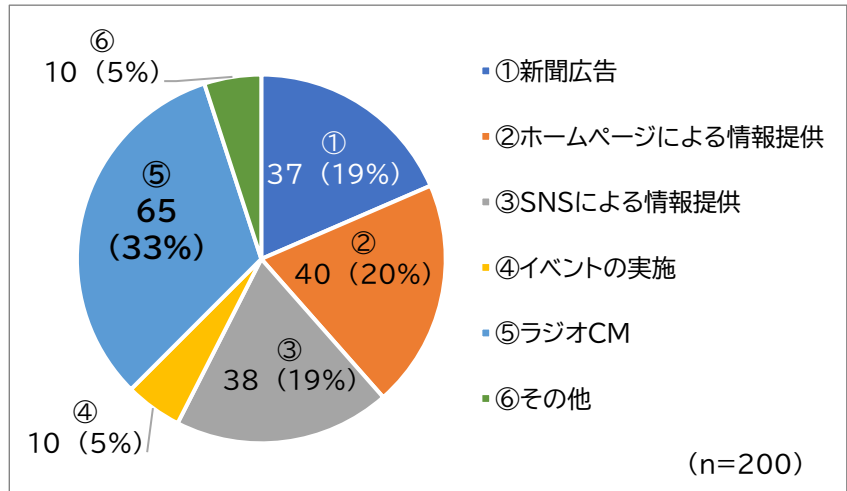
大型車ドライバー／一般ドライバー別



大型車ドライバー／一般ドライバー別に仕事以外での自動車の利用状況を見ると、いずれも「普段大型車以外の車両を運転している」と回答した割合が約7割～8割で最も多かった。

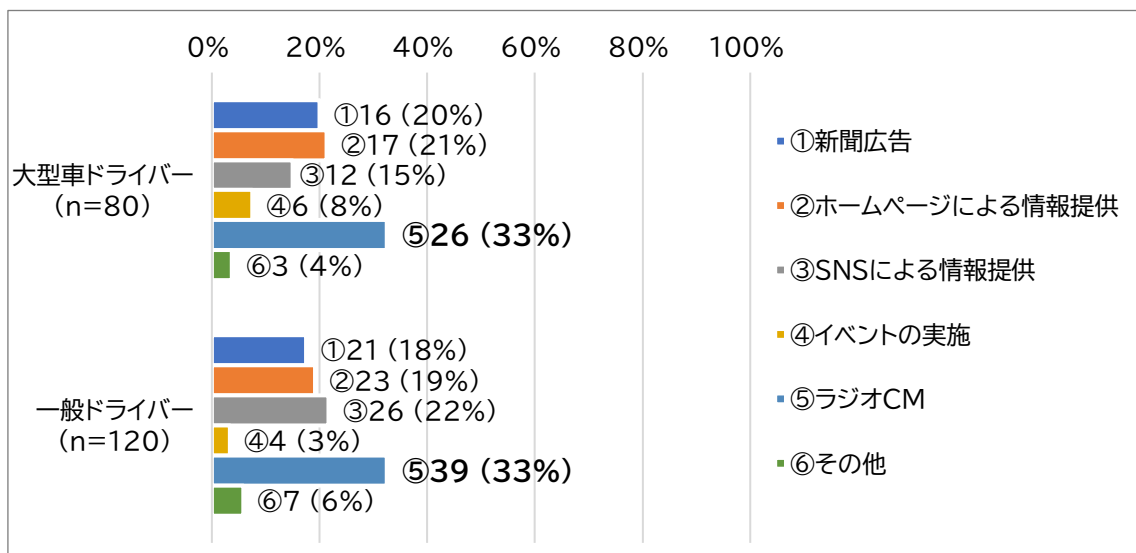
【質問7】 道路の老朽化問題や違法な重量オーバーの走行実態について、広く国民の皆様を知って頂くには、どのような取組を実施すると効果があると思われますか。

道路の老朽化問題や違法な重量オーバーの走行実態に関する認知度を上げるための手段として、「ラジオCM」と回答した割合が約3割で最も多く、昨年度の「SNSによる情報提供」とは異なる結果となった。その他回答の具体的な内容としては、「テレビCM」との回答が7件あった。



質問7その他回答(10件)	
テレビCM(7件)	
テレビ	
テレビの特集	
必要ない	

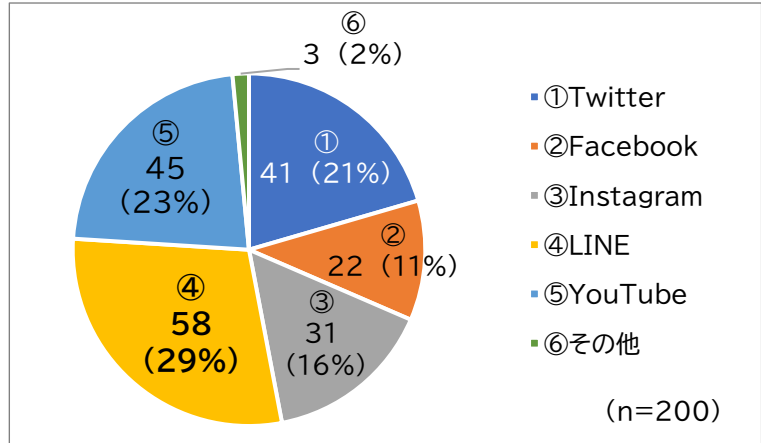
大型車ドライバー／一般ドライバー別



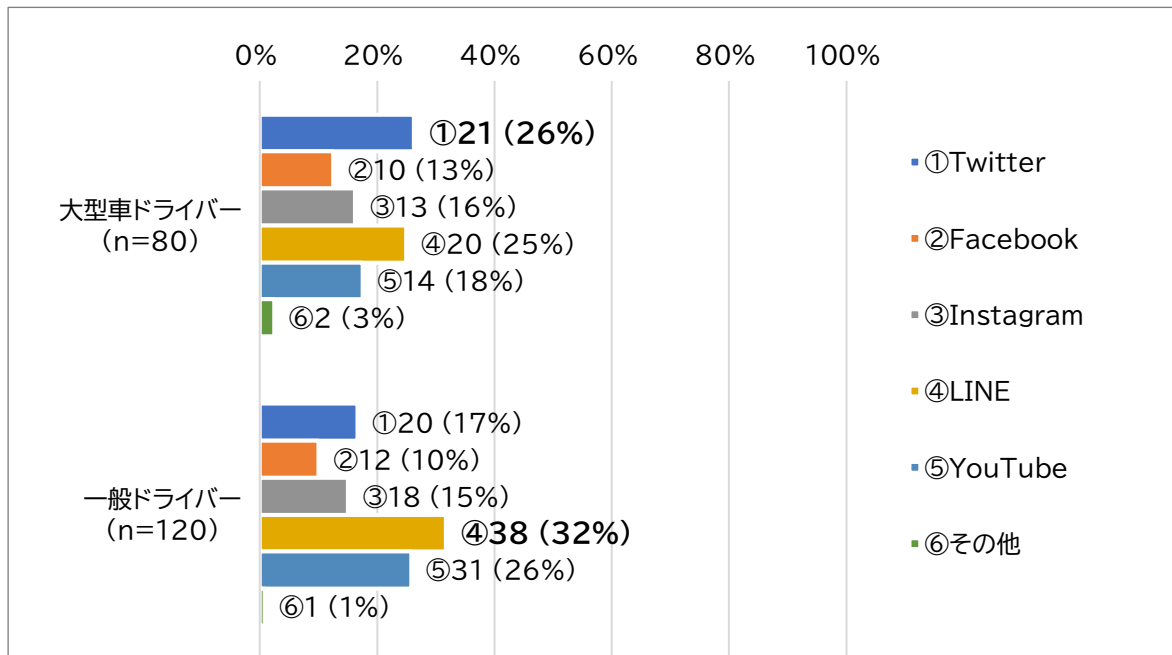
大型車ドライバー／一般ドライバー別に回答をみると、大型車ドライバー、一般ドライバー共に「ラジオCM」と回答した割合が約3割と最も多く、ドライバーとラジオとの親和性の高さを示す結果となった。

【質問8】 日頃、最もよく利用(閲覧)している SNS は、次のうちどちらですか。

日頃最もよく利用している SNS として「LINE」と回答した割合が約 3 割で最も多く、次いで「YouTube」が多かった。(昨年度は「LINE」次いで「Twitter」)
 その他回答 3 件の具体的な内容は、「見ない・利用していない」(3 件)であった。



大型車ドライバー／一般ドライバー別

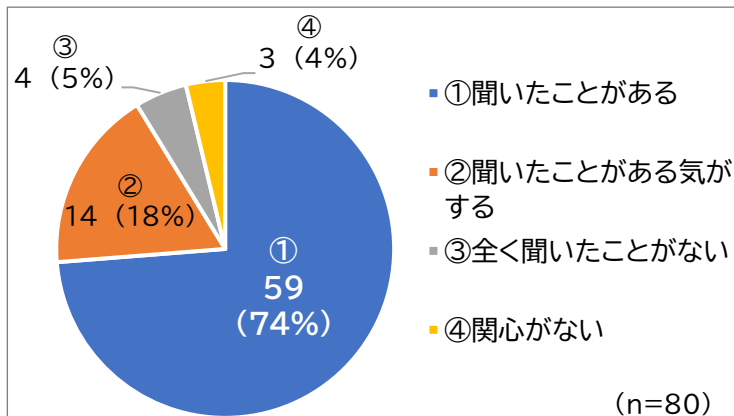


大型車ドライバー／一般ドライバー別に回答をみると、大型車ドライバーは「Twitter」と回答した割合が最も多く、一般ドライバーは「LINE」が最も多い結果となった。様々な情報をリアルタイムに取得することができる Twitter が、大型車ドライバーにとって利便性の高いツールであることが窺える。

▶本調査（大型車ドライバー向けアンケート調査項目）

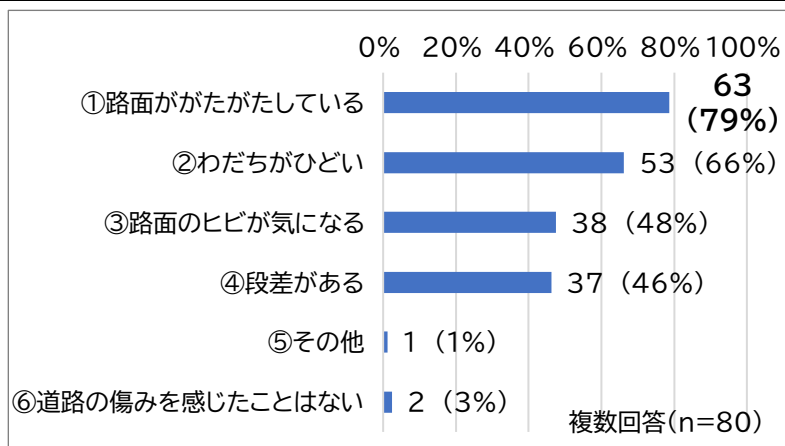
【質問9】全国的に道路(橋など)が老朽化している問題を報道や会社でお聞きになったことはありますか。

道路の老朽化問題の認知度は約7割であり、昨年度に比べ約1割低い結果となった。



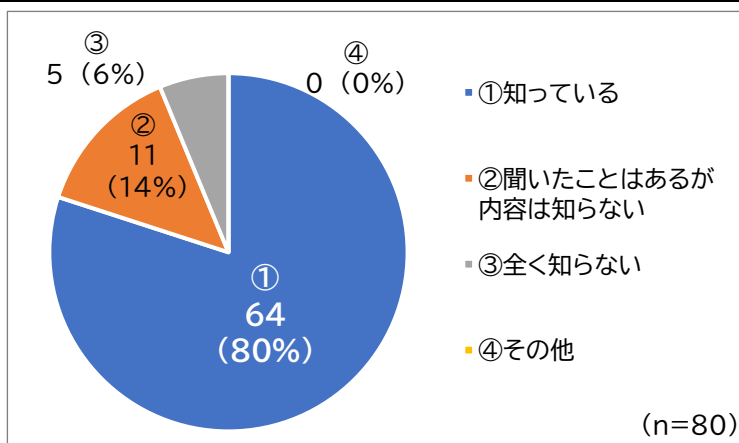
【質問10】大型車を運転していて、以下の選択肢にあるような道路の傷みを感じることがありますか。あなたがお感じになったことのあるものを全てお答えください。(いくつでも)

運転時に感じる道路の傷みに関しては、「路面ががたがたしている」と回答した割合が約8割で最も多かった。その他回答1件の具体的な内容は「揺れる」であった。



【質問11】法令で定められた重さ等を超えた大型車は通行許可が必要ですが、このことをご存知でしたか。(定められた大きさや重さを超える車両を走行させる場合、通行経路の道路管理者に対して申請を行い、通行許可を受けなければならない)

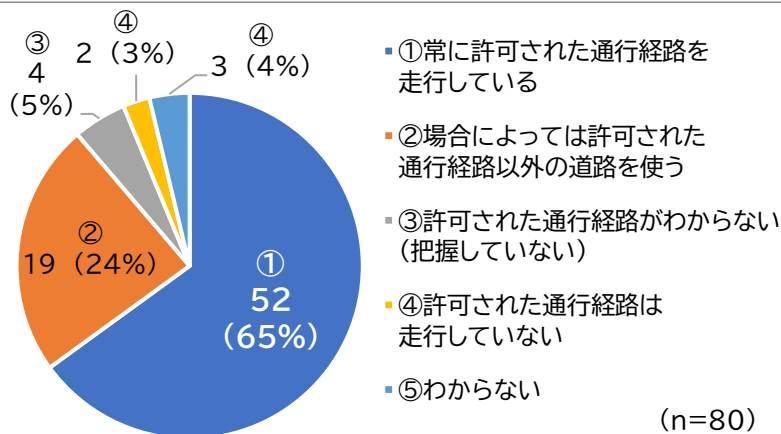
車制度の認知度は約8割と比較的高い結果であった。一方で「聞いたことはあるが内容は知らない」「全く知らない」と回答した割合を合わせると約2割となり、一部のドライバーは特車制度の内容を把握せずに走行している可能性がある。



【質問12】 特殊車両通行許可証で許可された通行経路をいつも走行していますか。

(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)

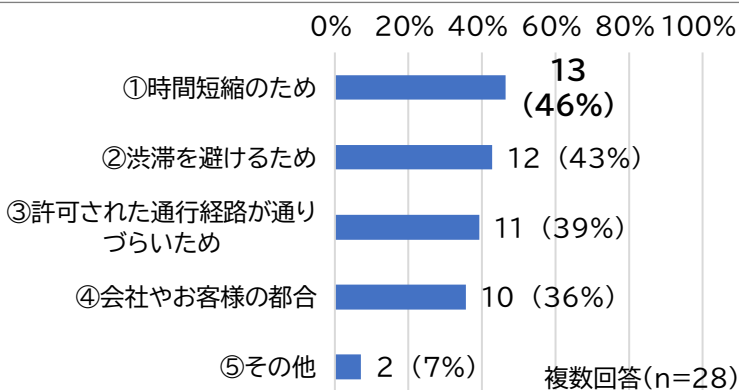
許可経路の走行状態について、「常に許可された通行経路を走行している」と回答した割合が約7割で最も多かったものの、残りの約4割近くは必ずしも許可経路を遵守した走行がなされていない結果となった。



【質問13】 許可された通行経路以外の道路を使う理由をお答えください。

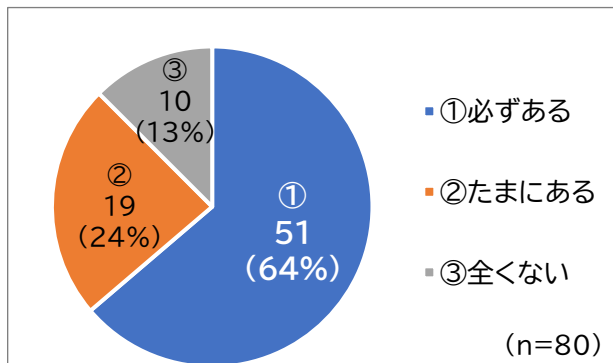
(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)(いくつでも)

許可経路を遵守しない理由としては、「時間の短縮」が約5割で最も多く、次いで「渋滞を避けるため」が多かった。その他回答2件の具体的な内容は「許可を取る重量は積んでいない」「通行止め」であった。



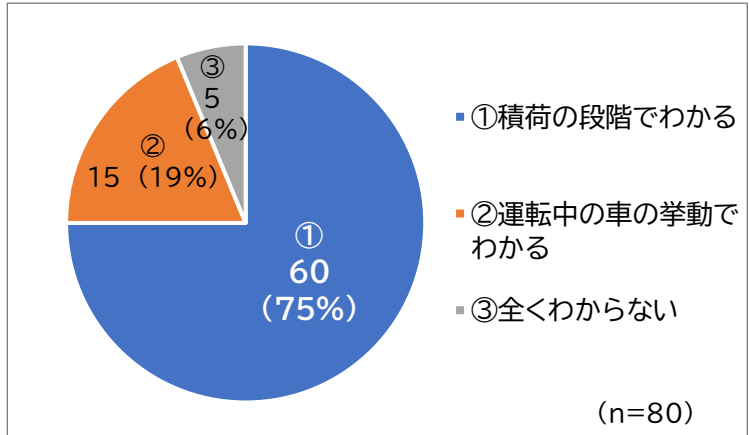
【質問14】 積荷を運ぶ際に、運行管理者からの指示はありますか。(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)

運行管理者からの指示について、約6割が「必ずある」と回答した。



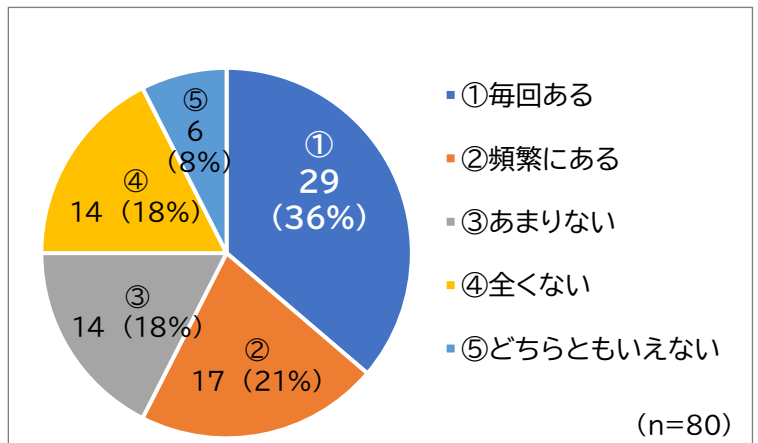
【質問15】 積荷積載時または運転中、積荷が積載可能な重量以上であることを感じたことはありますか。

積荷が重量超過したことの検知について、「積荷の段階でわかる」と回答した割合が約8割で最も多かった。



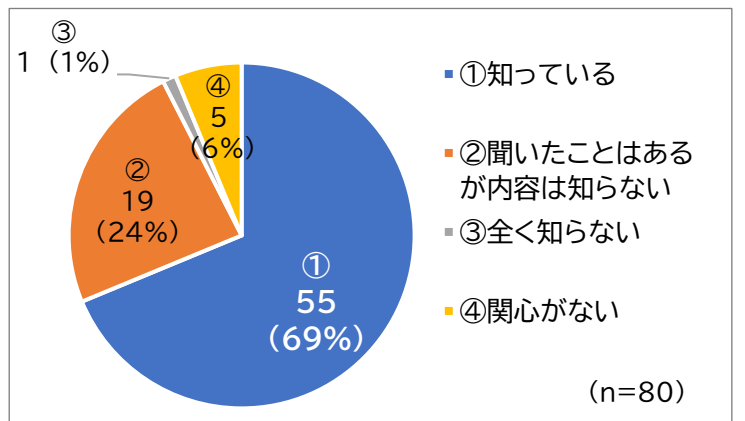
【質問16】 荷主(取引先)から、急な積荷の増量や、ルート変更等の指示をされたことはありますか。(回答はデータの分析等のために利用し回答者の特定は一切行いませんので、あなたご自身のありのままの状況をお知らせください。)

荷主による急な変更指示について、「毎回ある」「頻繁にある」と回答した割合は、合わせて約6割であり、「あまりない」「全くない」を合わせた割合よりも高かった。



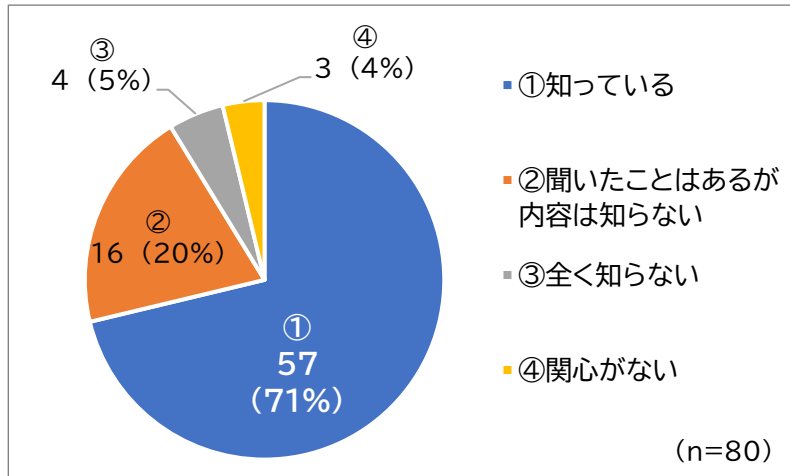
【質問17】 運送事業者の違反に対して、場合によっては荷主責任が問われる荷主勧告制度の内容をご存知ですか。

荷主勧告制度の認知度については、「知っている」と回答した割合が、約7割と最も多かった。一方で「聞いたことはあるが内容は知らない」「全く知らない」を合わせると、残りの約3割近くが荷主勧告制度の内容を把握しないで走行している可能性があることがわかった。



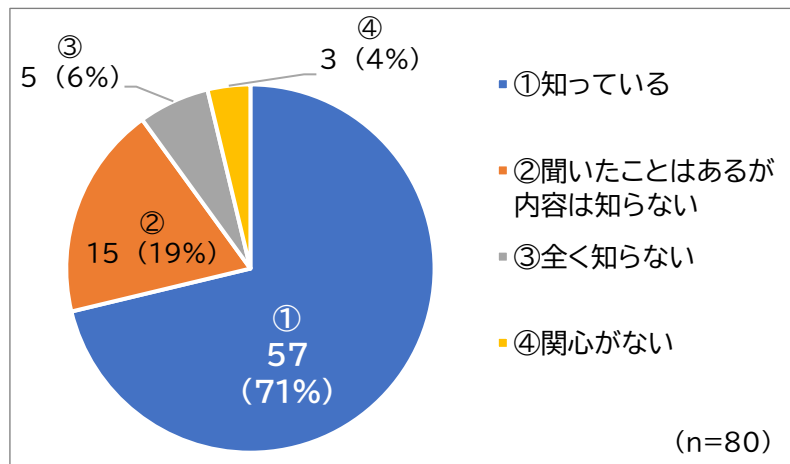
【質問18】 重量を違法に超過した大型車(特殊車両)の取締りが強化されていることをご存知ですか。

重量違反の取締り強化について、約7割が認知していたが、約3割は内容まで把握していなかった。



【質問19】 車両総重量が基準の2倍以上の違反車両は現地取締り時に即時告発(レッドカード)となることをご存知ですか。

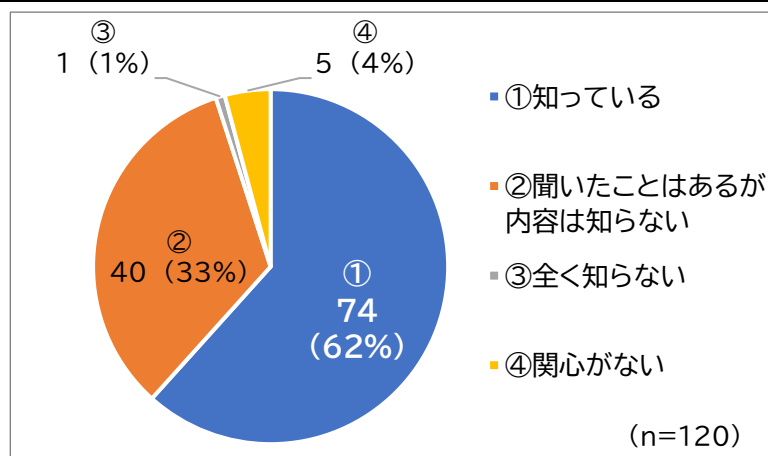
総重量2倍レッドカードの認知度は約7割であった。



▶本調査（一般ドライバー向けアンケート項目）

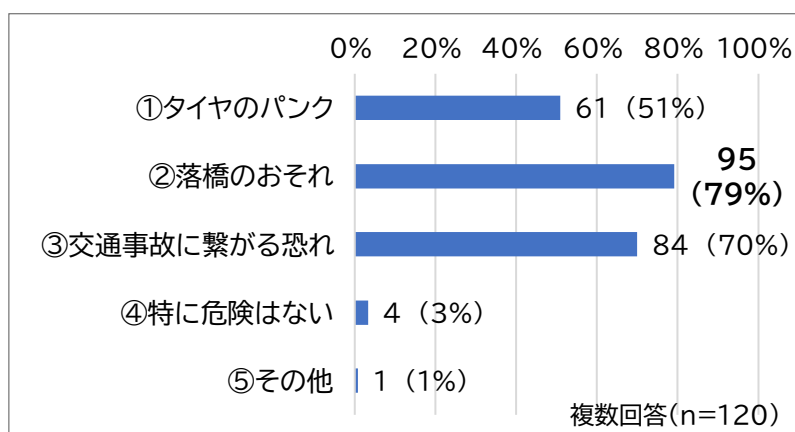
【質問20】 全国で道路（橋など）が老朽化している問題をご存じですか。

道路の老朽化の問題の認知度は約6割であり、昨年度に比べ約7%低い結果となった。



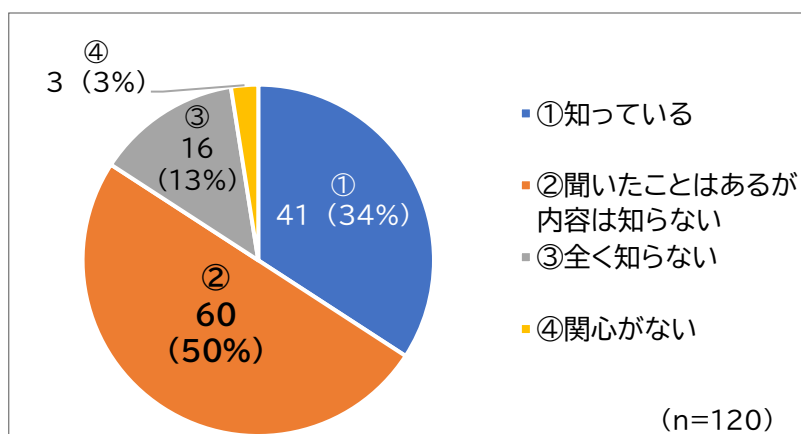
【質問21】 道路（橋など）の老朽化はどのような危険があると思われますか。（いくつでも）

道路の老朽化に伴う危険については「落橋の恐れ」と回答した割合が約8割と最も多く、次いで「交通事故に繋がる恐れ」が多かった。



【質問22】 法令で定められた重さ等を超えた大型車は通行許可が必要ですが、このことをご存知でしたか。（定められた大きさや重さを超える車両を走行させる場合、通行経路の道路管理者に対して申請を行い、通行許可を受けなければならない）

特車制度の認知度は約3割であった。「聞いたことはあるが内容は知らない」「全く知らない」を合わせると、約6割以上が特車制度の内容を把握していない結果となった。



【質問23】 高速道路や国道では、重量オーバー等の大型車の取締りを行っていますがご存知でしたか。

高速道路や国道で実施している取締りの認知度は約4割であった。

